

【東京国際空港】(東京都大田区)

通称「羽田空港」。東京・立川にあった東京飛行場を移転し、昭和6年に日本初の国営民間航空専用飛行場として現在の場所に開港。日本最大級の空港で、国内では数少ない24時間運用が可能となっている。都心からのアクセスが良いことから、天皇・皇族や内閣総理大臣が政府専用機を使用する際や、国賓や公賓の訪日時に使用されることが多い。

TOKYOシャイン

<https://www.tokyoshigoto.jp>



vol.
17

発行 公益財団法人東京しごと財団／東京しごとセンター・ヤングコーナー
企画制作 パーソルテンブスタッフ株式会社
印刷 タナカ印刷株式会社
発行年月日 令和元年6月28日



輝ける仕事はここにある！

TOKYOシャイン



東京のキラリと光る
中小企業を10社紹介。
就職活動に役立つ情報が
きっと見つかるはず！

未来を創る企業特集

vol. 17

東京にはたくさんの企業があります。

その多くが日本の産業を支える**中小企業**で、一社一社にそれぞれの魅力があります。

しかし、**求職者**がそれらの企業について詳しく知ることはなかなか難しいのが現状です。

「TOKYOシャイン」は、20代・30代の若手求職者に

もっと**中小企業**の魅力を知ってもらうことを目的に創刊されました。

毎号、様々な切り口で、中小企業を紹介していこうと考えています。

今号では「**未来を創る企業**」を**10社**取り上げ、その魅力に迫りました。

あなたが知らない**素晴らしい会社**が、東京にはまだまだたくさんあります。

ぜひ、あなたにぴったりの一社を見つける**手がかり**にしてください。



てるお

てるみ



てるぞう



てるこ



キラリと光る**中小企業**が 東京にはたくさんあるんだ!



01 10人の若手社員に質問! 中小企業で働く魅力って、何ですか?

06 街でよく見かける「車両ラッピング」のトップランナー
株式会社YMG1 (ワイエムジーワン) (製造)

08 ビル管理を軸足に、ビルに関連する多分野に進出
株式会社セイビ (サービス)

10 建物と生活を支える、給排水用加工管メーカー
ジャパン・エンヂニアリング株式会社 (製造)

12 創業以来ずっと黒字決算! 堅実経営の不動産会社
東日本住宅株式会社 (不動産)

14 紙媒体の未来に挑戦! 小ロット短納期に強い印刷会社
株式会社ミニカラー (印刷)

16 デザインに強みを持つ、実績豊富なITサービス企業
日本電算株式会社 (情報通信)

18 交通インフラに欠かせない安全装置の開発を手掛ける
株式会社インターテクノ (情報通信)

20 大規模な空調設備の施工保守を手掛ける
株式会社イクス (建設)

22 「品質は人質」にこだわり、名刺の企画・印刷を手掛ける
ユニオンネットワーク株式会社 (サービス)

24 ワクワクを大切に、飲食店経営などサービス事業を展開
株式会社FTG Company (飲食)

26 お父さん、教えて!
『スケジュール管理のコツは?』

「東京しごとセンター」とは?

一人ひとりの適性や状況を踏まえたきめ細かな就業相談 (キャリアカウンセリング) から、就職活動や就職後に役立つ知識・スキルを習得するための各種セミナーや能力開発、求人情報の提供・職業紹介まで、就職に関する一貫したサービスを提供しています。対象は、若年者から高齢者まですべての年齢層の求職者です。なお、29歳以下を対象にした「ヤングコーナー」は施設3階にあります。「ハローワーク飯田橋 U-35」が併設されているので、パソコンでの求人情報検索や、就職相談・職業紹介などのサービスを施設内でご利用いただけます。

※一部、30~34歳以下の方もご利用いただけるサービスもございます。

【業務時間】

《平日》午前9時~午後8時

《土曜》午前9時~午後5時

※日曜・祝日および年末年始 (12/29~1/3) はお休みです

【所在地】

東京都千代田区飯田橋3丁目10番3号

TEL 03-5211-1571

【URL】

<https://www.tokyoshigoto.jp>



第一線で活躍中の10人の皆さんに、「あなたが考える中小企業で働く魅力」を伺いました。ご覧の通り、答えはみんなバラバラ。10人いれば10通りの答えがあるように、中小企業の魅力は一言では語り尽くせません。ここで登場してくれた先輩たちは、このあとの企業紹介ページでもインタビューに答えてくれています。先輩たちが生き生きと働く様子を、ぜひチェックしてみてください。



10人の若手社員に質問！

中小企業で働く魅力

って、何ですか？

0からビジネスを作る事が出来る。

製造

★株式会社 YMG1 (ワイエムジーワン)
田辺 真一さん
(営業)

じっくりゆくり成長できる！

サービス

★株式会社セイビ
東條 健太さん
(ビル管理)

賞与!! 年3回

製造

★ジャパン・エンジニアリング株式会社
大泉 梨恵さん
(営業事務)

人とのつながりを大切にできる

不動産

★東日本住宅株式会社
鈴木 壘さん
(営業)

皆んなでチャレンジ!

印刷

★株式会社ミニカラー
浦川 陸さん
(営業)

成長を全力で応援してくれる

情報通信

★日本電算株式会社
森 周平さん
(営業)

結束力

情報通信

★株式会社インターテクノ
小野 卓さん
(システムエンジニア)

1から学び、得る技術と経験

サービス

★ユニオンネットワーク株式会社
田沢 笙さん
(管理)

社員同士の一体感

建設

★株式会社イクス
富山 優聖さん
(フィールドエンジニア)

たくさんの「ありがとう」が実感できる!!

飲食

★株式会社 FTG Company
宮澤 克徳さん
(総合職)

働けばわかる魅力がたくさんあるんだね!





株式会社YMG1 (ワイエムジーワン)

<http://www.yamaga-net.co.jp>



バスラッピング 広告の仕掛け人

街を歩いていると車体に広告が描かれたバスをよく目にする。あれには広告が印刷された特殊なフィルムでバスの車体をラッピングする技術が使われている。実は、このバスラッピングという広告手法が普及するきっかけをつかったのが、株式会社YMG 1 (ワイエムジーワン) なのだ。

「日本で初めて大型トラックとバスを

フルラッピングする様子をNHKが密着取材して放映したんです」(代表取締役社長・山家一繁氏)

その後、都営バスを皮切りにバスラッピング広告というビジネスモデルを構築、普及したのも山家氏だ。「バスの車体に広告を掲載するのは屋外広告物条例で規制されていました。この壁を乗り越え、短期間で約200台のバスにラッピングするという難問を社員一丸となってクリアしたときは、

↓ 本社のエントランス



↓ 仕事風景



↓ ラッピングフィルムの機械



感無量でした」(山家氏)

現在は、車両専用ラッピングフィルムで車の外装を包み込み、車の色を変えるラッピングサービスを推進。『LAPPS』というブランドを立ち上げて自社でカーラッピングを展開するだけでなく、ラッピング技術の講習会を開いて施工技術者の育成にも力を入れている。「世界では愛車をラッピングによって自分好みにカラーリングすることが流行っています。この楽しみを日本にも広めたいと力を入れているところで」(山家氏)



手掛けた仕事を 街中で目にできる

「面白そうなことをしている会社だな」と転職してきた田辺真一さんは、自動車メーカーやディーラー、広告代理店などを回って、カーラッピングの営業

をしている。

「イベントの告知や自社製品の宣伝、社用車に自社のロゴマークを入れて会社の認知度を上げたいといったニーズもあります。先日は、製品の発表イベントをする周辺でラッピングバスを走らせたいというお客様の要望に応えるため、イベントの制作会社と組んで10台のマイクロバスをフルラッピングしました」(田辺さん)

とある有名会社の合併に伴い、300台近くのトラックに新ロゴマークをラッピングしたこともあるという。「ビジネスで車両を使っている企業すべてがお客様であり、その要望も多種多様ですから、同じものがない。毎回、アイデアをひねり出すのに苦労しますが、それが面白いところでもあります。何より、自分が手掛けた仕事が世の中に残るのがいいですね」(田辺さん)

★経営陣に聞く★



代表取締役社長
山家 一繁氏

新たな挑戦と創造なくして、企業は生き残れない

ラッピングバス広告や好きなアニメのキャラクターを愛車にラッピング、カーラッピングによる車のカラーリングなど、これまで新しいビジネスに挑戦し続けてきました。しかし、時代は常に変化しています。しかもそのスピードはどんどん速くなっている。この変化を敏感に察知して新しいモノ・コト・ビジネスを生み出していかなければ、会社は生き残っていきません。だから、新しいことへ挑戦できなくなったら引退だと思っています。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1956年7月
設立・1956年7月

【資本金】

2,500万円

【所在地】

◎本社
東京都墨田区
両国2-12-2

【事業内容】

車両ラッピングサービス、LAPPSカーラッピング事業

【従業員数】

13名
(2019年4月時点)
※従業員の声に耳を傾ける社風のため、言いたいことははっきりと言える環境があります。





「弊社の強みは教育制度が充実しているところです。例えばホテル客室整備のために本社2階の研修ルームに超一流ホテルの客室を再現し、ベッドメイクなどの技術をしっかり習得できるようにしています」（関口氏）

業務に人材力は欠かせない。評価制度が確立されているため目標を立てやすく、仕事の励みになっている。「職種や役職ごとの研修カリキュラムを充実させています。顧客の満足度を高めるため、人材育成は会社の伝統として受け継がれているのです」（関口氏）

「オフィスビルから、誰もが知る丸の内の商業ビルのレストランフロアまで、4現場を担当しました。最初の3年間は現場の責任者の下でビル管理者としての仕事を学び、以降は責任者も任せられました」（東條さん）

現場に常駐し、日常的な巡回のほかに緊急時の清掃対応、またパート社員の勤怠管理なども行ってきた。「商業ビルを訪れる人やオフィスで仕事をされる人に、気持ち良く過ごしてもらいたいです。決して目立つ仕事ではありませんが、社会貢献度の高い、大事な役割を担っていると自負しています」（東條さん）

この仕事に向いているのは、どんな人だろうか。「汚れを見落とさないよう、真摯に業務に取り組み、きれいになることに喜びを感じられる人は仕事を楽しめると思います」（東條さん）



目立つことはないが 人の役に立つ仕事

東條健太さんは新卒入社し今年で8年目。現在は総務部に勤務しているが、入社から6年間は東京・丸の内界隈のビルに配属され、現場での清掃業務を担当していた。

★経営陣に聞く★



代表取締役社長
関口 清臣氏

AI技術の進歩により劇的な変化が訪れる

ビルメンテナンスはこれまで人の手に頼りきりの分野でした。しかしAIの進化により、近い将来、劇的な変化が訪れると考えています。その一つが警備や清掃を行うロボットの登場です。昨年には清掃ロボットを実際に現場で使うプロジェクトを発足させ、実際の使用感、課題などをメーカーにフィードバックするなど、弊社も開発に携わっています。これから大きく進歩していくこの業界で、未来のビジョンを共有できる社員と一緒に成長していきたいと考えています。

株式会社セイビ

<http://www.seibinet.com>



顧客の満足のため 人材育成に特に注力

ビルマネジメント業務を事業の柱とする株式会社セイビ。首都圏のみならず、全国で事業展開している。「従来のビル管理、清掃、警備などの業務を中心としながら、ビルにまつわる周辺業務を生業としています」

そう語るのは代表取締役社長の関口清臣氏。現在では専門性を持ったセイビグループ18社でオフィスビルや商

業施設のリフォーム工事、リニューアル工事に始まり、ホテル客室整備業務、マンション管理業務から建築に至るまで幅広く展開している。「オーナーさん目線で、ビルの価値を高めるためのコーディネートを行うプロパティマネジメント事業も好評です。不動産の価値を最大化することに当社が貢献しています」（関口氏）

従来のビル管理会社の枠組みを超え、同社の進化は続く。

キレイなオフィスで
私もお仕事したいわ!!





ジャパン・エンジニアリング株式会社

<https://www.japan-eng.co.jp>



生まれるのか！

新製品が

皆の力が集まって



プレハブ加工管で 業界をリードする

建物に必要な不可欠な給排水用のパイプ。それも、工事現場で加工するのではなく、あらかじめ工場加工して納品する「プレハブ管」を手掛けているのがジャパン・エンジニアリング株式会社だ。創業より黒字経営を続ける同社は、配管加工業界をリードする存在として地位を築いており、多数の特許を保有。新製品・新技術の開発にも余

念がない。

「当社は社名に“エンジニアリング”とあるように、営業職も含め、全員がお客様のために技術を提供する会社。技術開発を常に行うことで、長く成長を続けてきました」（代表取締役・南雲一郎氏）

プレハブ管の専門家として、大手ゼネコンなど多数の顧客をもつ同社。何より重視するのは、社員がお互いに支え合える会社であることだ。

社内の様子（本社）



本社外観



グアムへの社員旅行



「一般的には報連相といいますが、報告よりも相談が先に来るべきとの考えから当社では『相連報』を重視しています。誰でも気軽に相談できる環境があるんです。また、社員が海外を知るために5年に一度は海外へ行きます。社員が幸せになれる会社として、これからも成長していきます」（南雲氏）



目立たないが、重要。 社会に貢献する仕事

2014年に新卒で入社した大泉梨恵さんは、営業本部の副主任として、内勤営業を担当している。「実は最近、自分で立候補して副主任に昇格してもらいました。当社では、自ら手を挙げた人しか昇格の候補にならないんです」（大泉さん）

もともと安定した会社を志望していた大泉さん。なじみのない業界だったが、創業以来ずっと黒字経営を続けて

いることに感銘を受け、入社。

「周囲の人を気遣える社風が好きです。忙しい時にはさっと周りの人が手伝ってくれるんです」（大泉さん）

彼女の仕事は、営業が取ってきた仕事や、直接入る注文をもとに、工場や商社に発注をかけること。顧客とのやりとりや、書類作成をこなす。

「知識を蓄積するのは大変でしたが、分からないことがあれば先輩に聞きやすい環境ですから、学びやすいです」と話す大泉さん。やりがいを感じるのには、顧客から頼られていることを感じた時だという。

「お客様から質問をいただいて、それにお答えした時などは『頼ってもらえているな』と感じます。配管は建物の中で目立たない存在ですが、これが無いと人は暮らせません。社会を支える一部に役立てている点が一番のやりがいですね」（大泉さん）

★経営陣に聞く★



代表取締役
南雲 一郎氏

時代に合わせて、会社も製品も「変革」し続ける

当社は5年に一度、新製品を世に送り出しています。それは、会社も「変革」し続けることが継続のポイントだと考えているからです。日本も、新たなものをどんどん作った時代から、資源を長持ちさせる「ストック型社会」に変わりつつあります。近年、排水管再生工事のように、劣化したものを再生し、環境を良くするという時代に合った製品を提供していますが、今後もさらに建築・設備の分野で新しい社会に合った、新しい製品を提供し続けます。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1973年1月
設立・1973年1月

【資本金】

1億円

【所在地】

◎本社
東京都文京区
本駒込2-27-15
JESビル

【事業内容】

給排水用プレハブ加工管（ステンレス製、樹脂製）の製造・販売、排水管再生工事

【従業員数】

188名
（2019年5月末時点）
本社社員の平均年齢は35歳。女性比率は約3割で、事務職を中心に女性が活躍中です。文系社員も多数採用、活躍しています。なお、夏・冬の賞与に加えて決算賞与の支給もあります。





東日本住宅株式会社

<https://www.higashinijonjutaku.co.jp>



UR・公社物件に特化 身の丈経営で成長

東日本住宅株式会社は、UR都市機構（公団）や、各県の公社が扱う物件の売買や賃貸の仲介業務をメインに扱いながら、首都圏で成長を続ける不動産会社だ。

「1972年の創業以来、黒字続きで、景気の波の中でも堅実に経営してきました。不景気の中でも業績を伸ばせる“地道な”ビジネスが特徴です」と語

るのは、創業者でもある代表取締役の桃野直樹氏。

同社は、自社開発マンションや戸建て住宅の建設・分譲も手がけるデベロッパーでもあるが、主力業務はあくまでUR・公社物件の仲介業。自社でストックを持たないことで、厳しい環境を生き抜いてきた。

「当社で働く社員たちの生活を守るため、背伸びはせずに身の丈の範囲で業績を伸ばしてきました」（桃野氏）

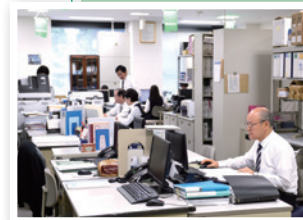
↓店舗外観



↓店内の様子



↓職場風景



今後はさらに、UR・公社物件の売買体制の強化も進めていくつもりだ。「社員には個性を発揮してほしいですね。会社の枠の中であれば自由に、何をやらせてもいいと思っています。自ら考えてどんどん進んでいけるような、型にはまらない人と一緒に働きたいですね」（桃野氏）



おもてなしと接客で プラスαの接客を

入社2年目の鈴木壘さんは、現在千葉県内の営業所で働いている。「衣食住のどれかに関わる業界で営業の仕事をしたかったので、自分にぴったりの会社でした」（鈴木さん）

現在の仕事は仲介営業全般。チラシ作り、ポスティング、書類作成に接客…と、物件を集めて販売するまでの全てを担当するのだ。「営業担当として、物件の仕入れから

販売までいろいろ関われるのが魅力です。当社はUR取扱業者の中でも歴史が古く、経験が浅い私でも“看板”を活かして契約が取れるんです。不動産知識ゼロから始めた私を先輩たちもサポートしてくれますし、働きやすい会社ですね」（鈴木さん）

社風については、「社長との距離の近さ」と「頑張りが評価される点」に特徴があると語る鈴木さん。

「大手と違って、営業所の一社員である私にも社長は声を掛けてくださいます。頑張れば頑張った分、インセンティブなどで収入に反映されるのも、やりがいに繋がりますね」

自身の仕事について、「将来AI化が進んでも、接客の仕事は絶対に機械に取って代えられない」と話す。

「おもてなしの心と接客を極めて、AIにはできない、人との信頼関係を築ける営業になりたいです」（鈴木さん）

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1972年1月
設立・1975年12月

【資本金】

9,950万円

【所在地】

◎本社
東京都新宿区
西新宿6-5-1
新宿アイランドタワー
2F

【事業内容】

公団（UR）・公社住宅を中心とする売買・賃貸仲介、マンション建設・分譲、賃貸管理

【従業員数】

268名
（2019年5月末時点）
男女比は8:2程度ですが、女性の営業職も多数活躍中で、スタッフ職は女性の方が多いです。学校名や学部にはとらわれず、ポテンシャルや可能性を重視して幅広く採用しています。

★経営陣に聞く★



代表取締役
桃野 直樹氏

人口減の時代にもマッチ。未来に続く住環境を提供

今の日本の住環境は、実は多様性に乏しいと考えています。そこで私たちは新たな取り組みを進めているのです。具体的には、年金で入居できるサービス付き高齢者住宅や、若い方が自分らしく暮らせるマンション・戸建て物件へのリノベーションなど、高齢世代、若い世代、それぞれにマッチした住宅の提供です。人口減で住宅余りの時代といわれますが、皆さんの暮らしと未来を支える立場として、社会的責任を果たしていきたいと考えています。

おもてなしの心が
暮らしを支えるのね





株式会社ミニカラー

<http://www.minicolor.co.jp>


印刷も仕事も
スピードが大切!!

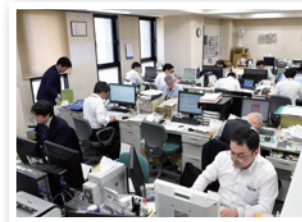


ネット時代に適応 速さ自慢の印刷会社

企業で使うパンフレットやカタログ、ポスターなどの商業印刷物を、企画から印刷まで総合的に手がける株式会社ミニカラー。同社は、他社に先駆けて「官製年賀はがき」の印刷を手がけるなど、新しいことにも果敢にチャレンジしてきた。「当社は、印刷業界ではあまり好まれない小ロット・短納期のサービスに特

化しています。社名の『ミニ』は、小さな仕事にもきちんと対応するという意味なんです」と語るのは、専務取締役の大岡剛氏。ミニカラーは「スピード」にこだわりを持ち、広告代理店やデザイン会社、ユーザーである各種事業会社、さらには同業の印刷会社からも信頼を得ている。「ネット時代に対応するためにも、さらにスピードを磨き、リードタイムの短縮を図ります。一方でウェブとの連

社内の様子 (本社)



社内イベント



同僚社員



動を進めるなど、お客様の販促をワンストップで引き受けられる会社に成長していきます」(大岡氏)



お客様とともに、 紙媒体を作る楽しさ

2017年に新卒で入社した、富樫千紗さんと浦川陸さん。2人とも営業職として活躍中の若手社員だ。エンドユーザーへの営業を担当する富樫さんは、出版・印刷関係の仕事に興味を持っていたことから入社。「お客様の相談を受けて、どんなものなら満足していただけるかを考えて提案するところから、製品の引き渡しまでを一括して担当しています」と語る富樫さん。彼女は入社2年目の昨年、社内で「新卒向け会社案内」を製作する担当者に抜擢された。「ただの会社案内にならないよう、当社の仕事に興味をもってもらえるよ

うにと、さまざまなパンフを見て研究しました。上に写真を入れ、下に親しみやすい説明の漫画を入れるなど構成を工夫しました。私のように、若手にも機会を与えてくれて、挑戦させてくれるのが、当社の良いところだと思います」(富樫さん)

一方の浦川さんは、営業職に就きたくて同社の門を叩いた。今は、印刷業者向けの営業を担当する。「同業のお客様相手だけに、知識や経験をたくさん得られるのが良いですね。ベテランの方々とやりとりは大変なこともあります、お客様から感謝の言葉をいただけるのが一番のやりがいですね」

そんな浦川さんに、ミニカラーの自慢できる点を聞いてみた。「周囲の方々が皆、家族や友人のようになあたかさを持っていて、社員同士仲が良いところです！」(浦川さん)

★経営陣に聞く★

専務取締役
大岡 剛氏

触れられる紙ならではの価値を提供していきたい

紙媒体の衰退が世間でいわれますが、私は紙媒体はなくならないと思います。むしろネット全盛時代だからこそ、手で触れる、渡せるコミュニケーションツールとしての価値は、高まると考えます。当社はネット時代に適応した速さとともに、紙の良さを追求して参ります。また、未来を作るためには人への投資も重要。当社は若手を積極的に登用していますが、さらに教育へも投資し、視野の広い、挑戦心にあふれた社員の育成に努めます。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1980年6月
設立・1980年6月

【資本金】

2,500万円

【所在地】

◎本社
東京都千代田区
神田佐久間町3-23
スタウトビル5F

【事業内容】

ポスター、カタログ等
商業印刷物全般の企
画・デザイン・制作

【従業員数】

86名

(2019年5月末時点)

近年は新卒採用にも力を入れるなど、若手主体の会社へと変貌中。新卒入社後、40代前半で役員に登用される例もあります。





日本電算株式会社

<https://www.nd-inc.co.jp>



幅広い技術を有する 老舗IT企業

日本では50年ほどの歴史しかないIT業界で、35年もの間、事業を継続している日本電算株式会社。これまでに銀行業務システム、通信システム、航空管制システムなどの各種システムや、スマホアプリなど1000を超える開発実績を持つ。開発工程は企画、設計、開発、テスト、運用・保守に分けられるが、日本電算ではすべての工程

を手掛けているので、幅広い技術を身に付けたい人がその希望をかなえられる環境がある。

また、IT企業としては珍しくデザイン部門を持っており、Webやアプリのデザインのほか、デジタルサイネージのコンテンツ作成やノベルティグッズのデザインも手掛ける。

「当社が大切にしているのは『まずやってみよう』という気持ちです。IT業界は日進月歩で進歩していくため、

↓ 社内の様子



↓ 研修風景



↓ 本社のエントランス



新しいことに挑戦し続けなければあつという間に取り残されてしまいます。そうならないため、前へ進み続けた結果、お客様の多様な要望に応えられる体制が整いました」(常務取締役・矢島洋子氏)



エンジニアの 希望も大切に

営業として働く森周平さんの仕事は、システムやアプリなどを開発する技術者がほしい企業と、技術を持つエンジニアを橋渡しすること。クライアントから開発したいモノや必要な技術、たとえばWeb系システムなのか業務システムなのか、アプリなのか、開発言語は何を使うのかといったことを詳しく聞き、最適なエンジニアをアサインするのだ。

「クライアント側の要望だけでなく、エンジニアの気持ちも大切にしていま

す。成長するためにどんな経験を積みたいのか、誰と一緒に現場なら力を発揮しやすいのかなど、エンジニアそれぞれの想いや志向、個性も考慮しながら、お客様とエンジニア双方にとってより良い結果が出るよう心掛けています」(森さん)

そのため、日頃からエンジニアとのコミュニケーションを大切にし、100名ほどいるエンジニア全員と、最低でも3カ月に1回は面談の機会を持つようにしているという。

「もともと人と話すのが好きでこの仕事を選んだので、大変だとは思いません。むしろ、いろいろ知っている分、エンジニアが現場で楽しそうに仕事している様子や成長していく姿を見ると嬉しさ倍増です。1つの現場を終えると、話す内容から顔つきまで変わるとも。そんな時、営業でよかったと実感できます」(森さん)

★経営陣に聞く★



常務取締役
矢島 洋子氏

ITと共に社会を学び、人として成長してほしい

未来を創るのは「人」です。そのため当社ではIT技術だけでなく、実体験も重視した教育を実践しています。先日は若手社員に食品サンプルづくりを体験してもらいました。作り方はネットで簡単に調べられますが、手を動かすことでモノが形づくられていくことを実感してもらいたかったのです。社員を積極的に海外へ連れていくのも、日本を外から見て考える機会を持たせたいから。社会を学んで人として成長してほしい。それが当社の育成方針です。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1985年8月
設立・1985年8月

【資本金】

5,000万円

【所在地】

◎本社
東京都品川区
上大崎2-25-2
新目黒東急ビル13F

【事業内容】

ソフトウェア設計・開発・保守、アプリ開発、ネットワーク構築、ITエンジニア育成、デジタルサイネージリース販売、デザイン事業

【従業員数】

180名
(2019年5月末時点)
営業やエンジニアといった部署の垣根もなく、和気あいあいとした雰囲気です。





株式会社インターテクノ

<http://www.i-t-c.co.jp>



システム制御で もしもの事故を防ぐ

1988年に設立した株式会社インターテクノ。社長はエンジニアとして独立後、フリーランスを経て起業した。「設立時から鉄道の安全制御に関わるシステム開発を中心に手掛けています。交通安全に関わることなので、緊急時の対応を考えて会社組織にしました」と代表取締役の民田秀夫美氏が語る。

同社が得意とするのは、交通のフェ

イルセーフの分野を中心とした開発だ。フェイルセーフとは装置やシステムの誤操作、誤動作による障害発生時、安全な方向に制御するためのものだ。同社は大手鉄道会社など、交通インフラに欠かせない信号や案内板などの装置の開発に携わっている。

「鉄道系の保安装置とは、例えば電車が前方にいた時にぶつからないよう制御する装置です。運行管理としてダイヤ通りに動かす装置、駅構内の表示関

↓会社のロゴ



↓社内の様子(本社)



↓社員旅行の思い出



係、精算機など、さまざまな開発を手掛けています」(民田氏)

交通インフラの安全装置を手掛けるだけに、社員の教育にも徹底して注力しているという。

「ビジネスマナーから始まり、ハードウェア、ソフトウェアの知識を2、3カ月のカリキュラムで習得します。社内開発ですので、先輩社員と一緒に働けるのは心強いと思います」(民田氏)



毎日利用する鉄道に 関われる仕事

小野隼さんは新卒で入社して5目になる。入社後一貫して鉄道の保安装置の開発に関わってきた。

「エンジニアとして形に残る仕事がしたいと思っていたので、鉄道という交通インフラに携われることがうれしいです」(小野さん)

最近、駅構内に設置されている

列車の運行状況や時刻が表示される「案内表示器」などを手掛けている。家族や友人にも自慢できる仕事だ。「仕事の成果が身近に感じられることがやりがいですね。以前は安全装置の監視を行っていたこともあるのですが、『利用する人の安心や安全を自分が守っている』ということを実感するたびに、自分がヒーローになったような気持ちになるんです！」(小野さん)

入社するまでは鉄道にさほど詳しくなかったという小野さん。しかし、専門用語を覚え、それが1つずつ身についていくことで、自身の成長を実感できているという。

「鉄道業界では10年くらい前のシステムを使うこともあるので、昔の技術に触れる機会もあります。業務を通じて自分の知らない技術を習得できる点が楽しいですね」(小野さん)

★経営陣に聞く★



代表取締役
民田 秀夫美氏

誰もが安心して暮らせる社会を作りあげる

自動車業界では自動運転化が実現に向けて進んでいますが、昨今は大きな事故も多く、車だけではなく交通インフラ全体で安全対策が急務だと感じています。実は安全装置の制御の考え方は車、鉄道、航空と、それぞれに違っているのが現状です。これを私たちエンジニアの技術と発想力を生かして、より安全な装置、方法を提供していきたいと考えています。交通において、誰もが安心して利用でき、事故のない、安全な社会の実現を目指しています。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1988年5月
設立・1988年5月

【資本金】

2,000万円

【所在地】

◎本社
東京都北区
赤羽西1-27-14
TFKビル2F

【事業内容】

鉄道関連の安全装置開発、交通信号関連の開発、無線通信関連の開発、音響サービス開発、AIによる品質保証など多数

【従業員数】

40名
(2019年5月時点)
※平均年齢は約30歳。
男女比は8:2で男性が多いですが、和気あいあいとした雰囲気特徴です。毎月1回、外部の講師を呼び、書道や大道芸、禅などさまざまなテーマで講座を開く。社員の創造性を豊かにしようという取り組みです。





株式会社イクス

<https://www.iix.co.jp>



最先端設備に 人材の技術力を

株式会社イクスは、シェアードシステムサービス事業（空調自動制御システムの施工、設備、点検など）、ディスプレイソリューション事業（有機ELパネルのムラ補正、画像処理など）の2つをメイン事業として展開している。これらは全く異なる分野に見えるが、そこには共通の理念がある。

「どちらも、現場で携わる社員の経験、

技術、裁量といった部分が不可欠な仕事です。空調自動制御システムはメーカー、年式、型式など様々で、業務上の経験値がものをいいます。有機ELパネルの画像処理は色味などの補正を行い、高度な技術と判断が求められる仕事です」（代表取締役社長・井本眞義氏）

いずれも職人が持つような卓越した技術力が不可欠な仕事だ。しかし同社は未経験者を積極採用し、研修や現場での仕事を通じて技術を身に付けられ

↓ 本社のエントランス



↓ ムラ補正装置



↓ 同僚社員



る学びの環境を用意している。

「制御システムを使った空調管理は、展示場などの大規模なホール、病院、学校、商業施設など場所により求められるものが異なります。現場のスタッフは体系的な知識と経験を積み重ねながら仕事を覚えていくのです」（井本氏）

同社の強みを、以下のように語る。「石油化学などのプラントエンジニア出身者が上層部におり、高度な技術を有しています。また、全国規模で大規模案件に携わることができ、幅広い経験が積めます」（井本氏）

未経験者でも 現場で育成

イクスでは新卒や中途入社者など20代の若手から、年長者では70代の社員まで、幅広い年齢層が活躍している。富山優聖さんは2019年4月に新卒入社し、フィールドエンジニアとし

て第一歩を踏み出したところだ。

「空調設備の自動制御システムを計装技術の観点から点検を行い、不具合があれば調整を行います。まだ現場に出て3カ月目なので、先輩に教わりながら仕事を覚えている段階です」（富山さん）

入社直後の研修では、設備の仕組みや計器の種類などをじっくり学び、現場での仕事に備えるという。「基本的に先輩と2、3名のチームで現場に入ります。先輩方がすごく優しく『何でも質問していいよ』と言ってくれるので、たくさんのことを吸収できるよう頑張っているところです!」（富山さん）

仕事のやりがいを次のように話す。「少しずつ仕事の理解が深まってきて、先輩の手助けができるようになってきたので、それがやりがいです。基礎知識をしっかりと身に付けて、現場で活躍していきたいです」（富山さん）

★経営陣に聞く★



代表取締役社長
井本 眞義氏

技術者スキルを身に付けて、未来に渡り活躍を

当社が手掛ける空調設備や有機ELパネルなどのディスプレイは、人が生きる空間には不可欠なものです。それぞれに最先端の技術が用いられていて、今後も進化を遂げるでしょう。それらの管理やメンテナンスは、機械任せではなく、より専門性の高い人間の技術が求められています。ビジネスの現場では機械化や自動化が進んでいますが、社員には単なる労働力としてではなく、他には負けないオンラインワンの技術を身に付けて、未来に渡り活躍してほしいと願っています。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・1999年7月
設立・1999年7月

【資本金】

4億2,400万円

【所在地】

◎本社
東京都品川区
西五反田2-7-12
五反田第一生命
ビルディング別館

【事業内容】

シェアードシステムサービス事業、ディスプレイソリューション事業など

【従業員数】

150名

（2019年5月時点）

※平均年齢は36歳。男女比は9：1で男性社員が多いです。東京本社のほかに、大阪、福岡などの西日本や、海外にも事業所を設置しています。また、仕事と家庭の両立を支援する「子育てサポート企業」として、「くるみんマーク」の認定を受けています。





ユニオンネットワーク株式会社

<http://www.union-1.co.jp>



僕も名刺を
たくさん
持ってるよ！



相手を思いやり
商品に愛情を込める

2001年の設立以来、名刺製作に特化した事業で成長続けてきたユニオンネットワーク株式会社。

「以前は、名刺印刷は印刷会社の一部門の仕事で、積極的に営業する会社は少なかったんです。しかしニーズが非常に高いことを印刷機メーカーに勤めながら感じていたので、ニッチな事業ですが会社を設立しました」(代表取

締役・松原丈志氏)

そんな同社を、時代が後押しした。企業がブランディングのためにコーポレートカラーを意識するようになり、さらにはURLやeメールアドレスの名刺に入れ始めたことで、名刺が大きく変化し始めたのだ。いち早く新しい印刷機器を導入するなど、あらゆる要望に応えられる環境を整え、短納期にも対応。それにより同社の事業は急成長を遂げた。

社内の様子(本社)



仕事風景



本社のエントランス



「現在は名刺印刷を中心に、企業が業務を行う上で欠かせない、封筒や挨拶状、伝票や帳票などの印刷を得意としています」(松原氏)

同社が何より大切にするのが、関わった人の質が商品の質を決めるという意味の「品質は人質(じんしつ)」という標語だ。そのため、相手への思いやりや、商品への愛情を大切にする文化が全社的に根付いているという。



社内見学で感動し
入社を決めた！

前職はパン屋で接客や簡単な調理の仕事をしていた田沢笙さん。新しい仕事に挑戦したいと考え、2017年3月に同社に入社した。

「元々、本が好きで印刷に興味がありました。会社見学の際にきれいな社内です印刷をする様子を見て、『印刷業界のイメージとは違う！』と感動したの

が入社の決め手です」(田沢さん)

現在の仕事は、受注の総合窓口としてお客様対応を行うのがメインだ。作業指示書の作成や刷り上がった物の検品、納品書の作成など多岐に渡る。「お客様からの依頼をただ受けるのではなく、社内の受注状況を見ながらどういった対応が可能かを判断することが求められます。お客様から直接お礼の言葉をいただいた時は、すごく嬉しいですね！」(田沢さん)

社内はコミュニケーションが活発で、部署を超えて連携が取れているため、仕事がしやすい環境だという。「印刷を軸にお客様のためになることにいろいろチャレンジできるので、サービス業に近いと感じています。今は先輩に助けてもらってばかりですが、もっと知識を身に付けて、自分から積極的に動いていけるように成長したいです」(田沢さん)

★経営陣に聞く★



代表取締役
松原 丈志氏

名刺の新しい活用の仕方を提案していきたい

名刺は古来よりあるもので、日本の文化です。お互いの信頼をお互いに確認し合うためのものですから、いくら時代が変わってもなくなる应该不会。逆に、今後は新しい活用の仕方を見出していきたいと考えています。例えば、リタイアした人たちが自分のことを伝えるツールとしてもっと使っていければ、高齢化社会の中で人々がコミュニティを広げていけるはず。印刷物にはいろんな力があるので、そこに興味を持てる人には面白い仕事ができる会社です。

Corporate DATA

【創業・設立】

創業・2001年5月
設立・2001年5月

【資本金】

1,500万円

【所在地】

◎本社
東京都中央区
築地1-12-6
築地えとビルB1F

【事業内容】

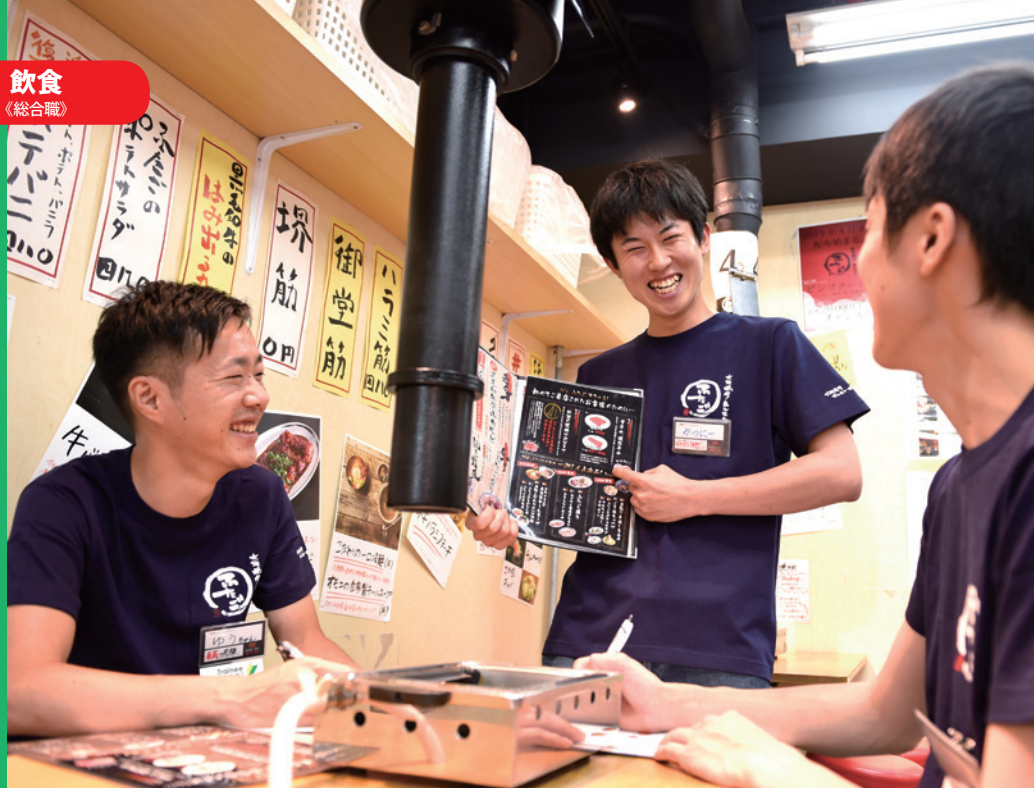
カード印刷、名刺、デジタルプリプレス、企画制作、各種印刷

【従業員数】

30名

(2019年5月末時点)

男女比はほぼ半々ですが、お客様との窓口になる管理部門は、前向きで活発な女性社員が多く働いています。「立地も福利厚生」との考えから、都心にオフィスを構えることにこだわっています。



株式会社FTG Company

<https://ftg-company.com>



人の成長が 企業の成長力に

人気焼肉店「大阪焼肉・ホルモンふたご」などを運営する株式会社FTG Companyは、代表取締役社長の李純哲氏と取締役副社長の李純峯氏が2人で設立した。店名の由来は2人が「双子」だったことから。現在は首都圏を中心に、関西、九州、さらには海外に焼肉店などの飲食店を70店舗展開。また、通販やホテル事業など、様々な分野へ

の進出も進めている。「最初は五反田の小さな焼肉店からスタートしました。現在は飲食業にはこだわらず、『人が持つ可能性を信じ、人々を幸せにする』という企業理念のもと、人の成長が企業を成長させるという考えを大切に経営しています」(李氏)

2人には、社員が同社での経験を通じて「目標や夢を明確にしてほしい」という強い想いがある。

↓ 本社のエントランス



↓ 社内の様子



↓ 店舗外観



「入社後は、接客技術に加え、脳科学や心理学を取り入れた研修を行っています。働く意味やビジョンを明らかにすることで、目的意識を持って、ワクワクしながら生きていってほしいからです」(李氏)

入社後はホールスタッフからスタートし、将来的には販売企画や商品開発、海外店舗運営など様々なビジョンを描いていける。

「我々は人材開発企業として、一人ひとりが描く未来に向かって、しっかり進んでいけるようサポートしていきたいと考えています」(李氏)

とても良い雰囲気の家社だと感じました。ここでなら自分の夢を見つけられそうだと感じました。サービス業全般に事業を拡大していくというビジョンにも惹かれたんです」(宮澤さん)

現在はスタッフの教育や管理を任されながら、自身でも接客を担当。また、渋谷エリア3店舗の管理者として新人教育も行う。

「お客様から感謝され、リピーターになっていただけることが最もうれしいです。また、アルバイトに新しい目標を持ってもらえた時は、やりがいを感じますね」(宮澤さん)

社内研修や日常の業務を通じ、自身の目標も見えてきたと話す。

「会社の中でステップアップすることです。半年後のなりたい姿を頭に描きながら、『そのためにどうするか?』を考えながら日々仕事ができるようになりました」(宮澤さん)



日々の業務を通じ 目標が見えてきた!

新卒で入社した宮澤克徳さんは、入社2年目ながら渋谷道玄坂店の責任者を務めている。

「人材開発営業本部の方々との面談で、

★経営陣に聞く★



代表取締役社長
李 純哲氏

NO WAKUWAKU, NO LIFE!

大きくて有名な会社に入ることが幸せだと考えている若い人が多いと聞きます。本来、仕事選びとは「これがしたい!」という思いが先にあって、それを実現していくことでワクワクするはず。私の考えでは、当社での仕事を通じ「自分が何がしたいのか」が明確になるなら、それが一番だと思っています。自分が本当にしたいことを一人でも多くの人に見つけてほしいという思いから、現在、教育分野への進出を準備中です。

【創業・設立】

創業・2010年3月
設立・2010年3月

【資本金】

1億3,675万円

【所在地】

◎本社
東京都目黒区
中目黒3-6-1
千陽アポロンビル4F

【事業内容】

「大阪焼肉・ホルモンふたご」などの飲食店経営、飲料品の販売、飲食業に関するコンサルティング業、不動産、設計・施工業など

【従業員数】

200名
(2019年6月時点)
※平均年齢は29.5歳で、男女比は男性65%、女性35%。社内は肩ひじ張らずに働けるよう、服装もラフなスタイルでOKにしています。年一回開催される「FTGオリンピック」(運動会)は、社員同士の結束を高めるための一大イベントとして毎年大いに盛り上がります。



てるお・てるこの
お父さん、
教えて！



余裕を持った
行動を
心掛けよう！



アプリなど、便利なツールを使ってみよう

スケジュール管理と聞いて真っ先に浮かぶのは「手帳」だね。もちろん使い慣れたものを使うのが一番だけど、最近は便利な手帳アプリもたくさんあるので、いろいろ試してみるのも良いかもね。たとえば、メールで届いた情報を簡単に予定として反映できるアプリなんかもあるので、使い勝手が良さそうなものを探してみると楽しみながら管理できるよ。就職活動中はいろんな予定が細かく入ることが多いので、できるだけ自分に合いそうな、ストレスを感じない方法を探してみてね。

新しいアプリを使いたくて、
ついつい予定を入れちゃうのよね！



スケジュール管理

企業訪問や面接、書類などの提出締め切りや、その準備…就職活動において日々のスケジュール管理はものすごく大事なことの1つだ。就職後も役立てられるコツを、お父さんに教えてもらおう。

POINT ①

予備の時間を意識しよう

予 定を入れ始めると、あせる気持ちからついつい詰め込みまくなっちゃうよね。でも、ちょっと待って。面接や企業訪問などの予定の場合は特に、移動時間や休憩時間を考えてバッファ（予備時間）を取っておくことが大事だよ。そうすれば急なトラブルや予定変更にも対応できるからね。あとは、書類を作成したり企業研究をしたりする「机に向かう時間」も予定として時間に組み込むこと。「空いた時間にやろう」と思っているとなかなかできないものだし、直前になって慌てなくてすむよ。くれぐれも行き当たりばったりで考えないこと！

私は1つに集中したいタイプなので、
企業訪問は1日1社と決めているの～



POINT ②

のコツは？



POINT ③

その日の振り返りは忘れずに

仕 事にも言えることだけど、「振り返り」は大事だよ。うまくいったことも、いかなかったことも、振り返ってその理由を整理しておけば次に役立てられるね。「予定ギリギリに移動したら電車が遅延した」「早めに着けたので心に余裕が持てて面接の受け答えがうまくできた」といったような、その日の失敗や反省、よかったことなどは、忘れないようにメモに残しておこう。就職したら、どの仕事でも間違いなくスケジュール管理は必要になるので、今のうちから意識しておけば、自分の行動が大きく変わるはず！

失敗から学んで、
仕事をするうえでも大切なことよ！



てるおと
てるこのことを、
もっと知りたい
あなたは
ぜひチェック！

【Q1】
2人が
今やってみたいことは？

「来年のオリンピックに向けて、いろんなスポーツを観戦をしようと思っているんだ。もうすぐW杯もあるし、ラグビーの試合を生で観てみたいな！」(てるお)
「ブームに乗っちゃって御朱印集めをしようと思っているんだけど、どこも人気で混んでいるので、なかなか集まらないのよ～」(てるこ)

【Q2】
2人が創りたいのは
どんな未来？

「争いのない世界、なーんてかつこつけてみたりして(笑)。やっぱり、若い人たちが興味を持って楽しく働ける仕事がたくさんある未来だといいなあ」(てるお)
「そうね！求職者の人たちが明るい未来を描けるよう、面白そうな企業や仕事を探するために、私たちも頑張らなくちゃ！」(てるこ)

『てるお』&『てるこ』のQ&Aコーナー